



No. 242

1

9

おもな内容

- マリンスポーツカーニバル.....②③
- 川辺おどり.....④
- 知事とガヤガヤ会議、ふるさと創生 ⑤
- 高齢化社会に生きる.....⑥⑦
- 主張大会最優秀賞作品.....⑧
- はなしのひろば.....⑩⑪
- まちかど.....⑫⑬
- お知らせ.....⑭⑮

発行・岐阜県川辺町 ■編集・川辺町役場企画室 ■印刷・四橋印刷KK



夏のイベントが終り
湖上は静寂に

夏のイベント、川辺町マリンスポーツカーニバル、川辺おどりが終りました。当曰は好天にめぐまれ多数の参加者、観衆でにぎわいました。イベントでは多くの出会い、ふれあいがあり、また、多くの想い出もありました。

しかしこうした行事のかげには多くの関係者のご苦労があったことを感じます。

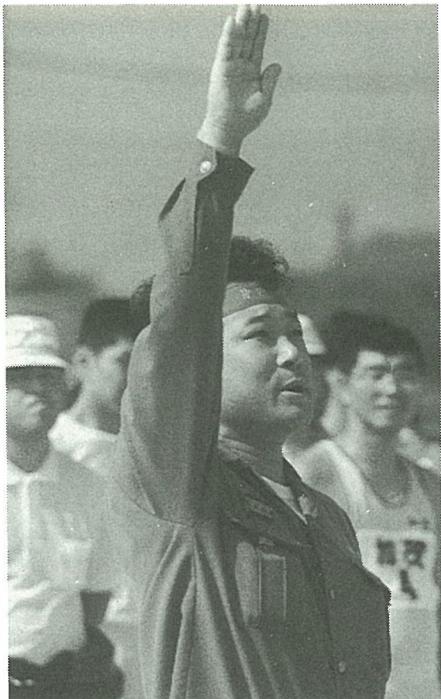
■人口の動き=7月末(カッコ内は前月比) 総人口10,790人(+174) 男5,300人(+91) 女5,490人(+83) 世帯数2,871(+53)

暑く燃えた夏の一日 第一回マリンスポーツカーニバル開催

暑い一日となつた八月十三日、第一回川辺町マリンスポーツカーニバルが町民千人以上の見守るなか、盛大に行われました。

これは四回目を迎えるカヌー大会と、今年初めてのボート競技を行つたもので、カヌーには三十八人、ボートには参加クルー数五十九、総勢四百人以上の参加がありました。また、漕艇場には参加者の家族、応援の人、見学者であふれ、ボート

が町民のスポーツへと位置づけられる一歩となりました。



▲選手宣誓を行う佐伯雄幸選手



▲選手の奮闘に手をとりあう、ごくろうさん。

▼▼役員も選手も疲れた！



体育指導員
井戸 賞 司さん

天候に恵まれ、絶好のコンディションのもとで多数の参加を得て、実施できました。ことにボートは、職場チーム、地域チーム、同好チーム、アミリーチームと、若いから若きまで幅広い層の参加があ

り、ボートに乗るのも漕ぐのも初めての人が大半で、また、二～三回の練習ではありますたが、どのチームも息が合い楽しい大会だったと思います。

一方、カヌーは例年より参加が少なかつたのですが、午後の体験会には乗る人がふえ、楽しかったとの声も聞かれました。

来年は多くの人にチャレンジしてほしいと思います。

'89



▲選手のみなさんスタートします 集まってください! =カヌー出艇場で



▲出漕する各艇がひしめきあう漕艇場

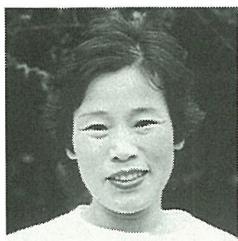
▶私のカヌー、まっすぐ進まないわ!



▲ヘンリーポストさんもカヌーに挑戦



▲各艇、息を合わせてゴールを目指す。



さわやかスマイル
遠藤春子さん

恵まれた環境のもと、この大会に参加でき嬉しく思っています。私がボートに興味を持ったのは、中学ボート部保護者の会で一度漕がせてもらいました。機会があればやりたいです。機会があればやりたい

と思っていました。水面を滑るよう

に進む優雅な感じの競技も初めて参加して、とてもハートなものと知りました。

▶成績発表—お互いの奮闘をたたえあう
選手ら



川辺おどり盛大に



▶チビッコ太鼓も登場



▶夜空に広がる花火

花火に大観衆

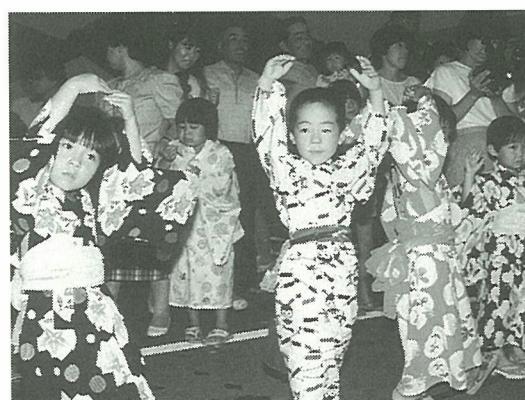
八月十二、十三日の二日間、役場庁舎前を主会場として、川辺おどりが開催されました。

十二日午後六時半からテープカットが行われ、第一保育園児による鼓笛隊パレードで、祭典が始まりました。ミニ商店街、川辺太鼓、花火大会、飛龍太鼓、川辺おどりに、大勢の観客が詰めかけました。

十三日には、飛驒川でマリンスポーツパーク一バルが開催されているのと同時に、子ども広場に、カルガモコンボイ、フワフワしながらなどが登場、また、老人クラブによる昔の遊び手作りコーナー、射的コーナーに、子どもたちが参加しました。餅投げは大変好評で、餅のほかにお菓子を山ほどかかえて持ち帰る姿も。その後歌謡ショー、ターポレンジャー、お笑いステージなど、川辺おどり終了の午後十時半まで多くの人にぎわいました。



▶子ども広場にお年寄りによる手作りコーナーも



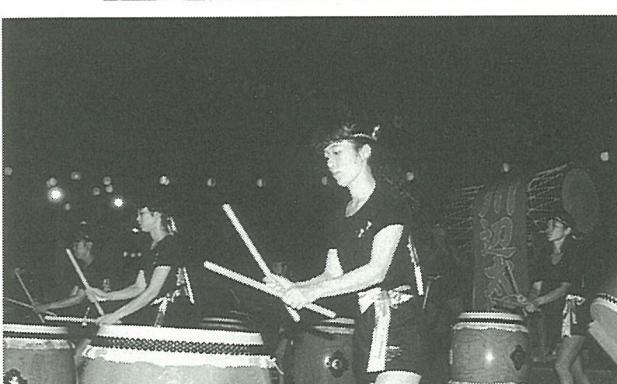
▶チビッコもおどりに参加



▶トーキショウに人が集まり
楽しいショーに



▶川辺太鼓がおどりに花
をそえる



「漣トーキー」開かれる

さざなみ

知事とガヤガヤ会議

八月二十日川辺漕艇センター二階で、梶原拓知事を囲んでの「県政夢おこしガヤガヤ会議」が行われました。

これは、県政のなかに広く県民の意見、考えを反映させる場として行われたもので、川辺町ではこれを「漣(さざなみ)トーク」と題して開きました。

会議には町民十人が参加しました。会社員、団体役員、主婦、

高校生、短大生のほかオブザーバーとして町長らが出席。地域活性化を目指す意欲的な意見がなごやかな雰囲気のなかでかわされました。

参加者からは、飛騨川ダム湖周辺整備に絡み「熱気球やヘリコプターを飛ばす施設があるといい。ロープウェーをつくつては」など夢いっぱいのアイデアや、「ダム湖周辺に遊歩道を設けたらどうか。バラ街道やお年寄りや子どもたちが常時ふれる施設。花の生産工場を造れないか」などの意見もありました。

これに対し知事は、女性の發言のなかで「高いところに目を

やることは牛の目から鳥の目で物を見ることで、発想の転換がなかなかいい」と感心。「ここはダム湖が目玉だと思う。周遊コース、花の道などこれから大きくのびていく。また花づくり、特色あるたべ物づくりを大いにのばしていってほしい」と感想を述べました。

◆川辺漕艇センターで行われた「漣(さざなみ)トーク」は夢や意見が活発に出された。



飛騨川ダム湖周辺整備へ

ふるさと創生事業

——整備計画は現在検討中——

川辺町のふるさと創生事業は「飛騨川ダム湖周辺整備」の方に向です。これは町民の要望も多く、また、自然と調和のとれた潤いと活力あるまちづくりを目指す我が町にとって、注目すべき課題でもありました。川辺町ではさきの川辺町ふるさと創生事業推進懇談会（横田良房会長）の答申を受けて、この方向へ進めていきます。全国でも例のない、すばらしい景観をもつダム湖。緑にかこまれたオープンスペース。流速も小さく水位変動もわずか。この湖はまた川辺町の気候にも影響をあたえていると考えられます。特に冬場には大きな湯たんぽをかかえているようなものです。

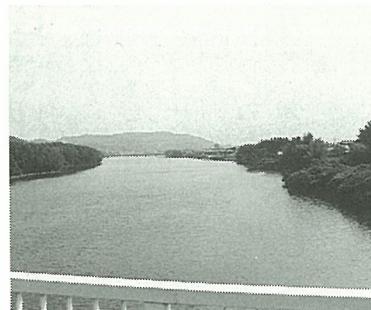
町民とかかわりの深いこのダム湖の整備計画は現在検討中です。町ではこれに先き立ち、八

月七日に「まちづくりを考える」と題して、景観工学の権威、東京工業大学名誉教授・鈴木忠義先生を迎えて、まちづくりの考え方についての講演会を開きました。川辺町を視察していただき、総合診断をもとにしたこの講演会は大変意義あるものでした。また、この計画は長期にわたる方についての講演会を開きました。川辺町を視察していただき、総合診断をもとにしたこの講演会は大変意義あるものでした。

また、この計画は長期にわたる方についての講演会を開きました。川辺町を視察していただき、総合診断をもとにしたこの講演会は大変意義あるものでした。



8月6日、町内を視察する鈴木教授
=新山川橋で



飛騨川を新山川橋からのぞむ

に生きる

人生80年型へ意識の転換を

長い老後を充実したものにするには、もはや「余生」といつた人生五十年時代の考え方・意識は通用しません。

かつてよく言われた「いい年をして……」とか、「年がいもなく……」などという言葉にとらわれるのではなく、自分の人生についてマイナスです。そうした年齢による“偏見”を捨てて、これまでに身についた知識と経験をいかに社会に生かすかを考えたいのです。

途方に暮れる……こんなはずではなかつた、と。これは一種のカルチャー・ショック（文化摩擦）と言えなくもありません。

“粗大ごみ”とか、“産業廃棄物”などという言い方は、実は、このカルチャー・ショックにとまどつて、家庭や地域でなすすべもなく立ち往生している男たちを指すのです。

今こそ、人生八十年型への意識の転換が必要です。

日本人の平均寿命は、昭和六十二年で男子七十五・六歳、女子八十一・四歳と、世界最高の水準です。六十歳を定年とするなど、男子で十数年、女子で約二十年の平均余命があります。人生五十年時代には考えられなかつたことです。

平均寿命の伸びに応じて、人生五十年型の意識を八十年型に変えていくこと、これが今、中、高年にとつての大きな課題といえます。



男性よりも女性が交流活発

昭和六十二年に行つた老人実態調査の結果から、川辺町のお年寄りの現状を調べてみると、地域活動に参加しているという方は五六・一%と、半数以上の

方が何らかの形で参加しています。その内容は「老人クラブ」が大多数で「自治会のあつまり」、「趣味のあつまり」、「スポーツのあつまり」と続いています。

97歲

よう、昔を思
い浮かべる日

会話の番

楽しみは、お嫁さん
だと感じました。

番の楽しみは、お嫁さんとの会話だと感じました。

新聞とテレビで社会通

には涙がにじんでいました。

A black and white photograph of an elderly woman with a deeply wrinkled face, looking directly at the camera. She has short, dark hair and is wearing a dark, draped shawl over a light-colored garment. Her hands are resting on a newspaper in her lap. The background consists of a patterned curtain with a repeating geometric or floral motif.

佐伯 す ま さん

(下吉田)

明治25年8月21日生

健やかな 老後のために

高齢化社会



山田りつさん

(下麻生)

明治26年9月24日生

95歳

今の楽しみは編み物

昭和五十九年に白川町から川辺町に引っ越してこられたりつさん。耳が少しとおいのですが、元気なおばあちゃん。朝七時におき、朝食は家族と一緒に同じものを食べています。

今は、毛糸の編み物を楽しんでいます。子どもや孫につくってあげています。朝おきて、今日は何をやろ

て調べてみますと、男女ともに一番多いのが「テレビを見る」です。次に多いのが男で「新聞を読む」、「家族と一緒に過ごす」で、女では「友人、知人とよく話す」、「本を読む」とあります。

今、老人クラブの活動のなかで、地域の子どもたちとの「昔の遊び」「昔の話」の交流の場づくりが行われています。また、なっています。



平岩ほかよさん

(中川辺)

明治27年6月20日生

95歳

草むしりで健康保持

血色が良く、おっとりとした、ほかよさん。耳、目、そして言葉もしっかりとあります。テレビはきらいで、もっぱら編み物に取り組んでいます。

高齢とは思えないほど器用な手つきで編んで見せてくれました。作品もすばらしいものでした。

朝七時に家族と一緒に朝食をとり、一日が始まります。食べるのに好き嫌いがなく、特に酔の物が好物です。

好きなことは、テレビと一人で風呂に入ること、そして

散歩。テレビは水戸黄門がすき、しかし最近はやつてないときと残念そう。風呂は湯船には危ないので入らないのですが、今でも草が気になり、草むしりを続けています。

夜はおちょこに一杯の晩酌が日課です。楽しみは何ですかとの質問に、ひまごの子どもを見るのが楽しみだと答えてくれました。その後、ほかよさんの子ども、孫、ひまごの成長の思い出に話がはずみました。

男性よりも女性の方が、外とのコミュニケーションがよくとれていることがわかります。

今、老人クラブの活動のなかで、地域の子どもたちとの「昔の遊び」「昔の話」の交流の場づくりが行われています。また、なっています。

各地域の老人クラブの活動も発に行われています。ゲートボール、公民館活動、ボランティア活動とそして、高齢者能力活用協会の活動など。あなたもこれらの活動に積極的に挑戦してみてください。

青少年主張大会最優秀賞作品

六月二十五日に行われた主張大会のうち最優秀賞作品を二点、今月から二回にわけて掲載します。

僕は今まで、人に会つたら簡単にあいさつをすればいいと考えていました。でも今はなんと大切で素晴らしいものなんだろう、とつくづく感じています。

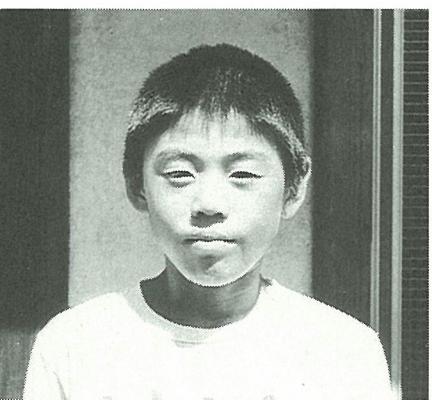
そう感じたのは、今、学校でやっている“目当てとふり返りノート”というのをやつてからです。どういうふうにやつていたかというと、最初に今日の目当てを書きます。そしてなぜそういう目当てにしたのか、わけを書きます。そして、今日一日の目当てに対し、どうだつたかをふり返つてみるのです。僕はこの目当てとふり返りノートに、こう書いた日がありました。

• 目当て／はずかしがらず、相手より先にあいさつをする。

• わけ／学校での僕の六月の目当ては、はずかしがらず、あいさつをするだからです。六月の目当てが、達成できるように練習として、この目当てとふり返りノートでやってみました。それと、人に会つてあいさつをしないと、相手はいやな気持ちになるからです。一日をふり返つてみて／今日は守れました。一番最初に近所

の人に先に笑顔で大きい声でいえました。その他に、先生方にもえしゃくができて良かつたです。というふうにです。この中から、あいさつとは、どういるものか、教えられました。それは“素晴らしい”この一

の人に先に笑顔で大きい声でいえました。心が通じるものです。それはもえしゃくができて良かつたであります。この中から、あいさつをすることによって話しゃべくなることです。この中から、分かるように、僕は今まで、簡単にあいさつをすればいい、と考えていましたが、まちがっていたようですが、まちがいた



西小6年 小山弘行(鹿塩)

あいさつというものは

小学生の部 最優秀賞

です。まだ他にもあります。心も笑顔であいさつをしていかなければいけないと私は思っています。時には、あいさつって、ほんとにはずかしくてやだなあと思つたこともあります。でも、あいさつは自分のためになるから、勇気を出してあいさつを交していきたいと思います。そこで、これから出発のつもりで、今、ここでみなさんと一緒に挑戦したいと思います。

「こんにちは」

僕は、今、ここでやつてみて勇気が持てたと思います。こんなふうに、この世界のみんなが、誰にでも笑顔であいさつができるれば、人類みな兄弟で素晴らしい世の中になると思いります。

みなさん、あいさつをして心をつないでいきましょう。



行政相談制度をご存じですか。これは、国や県、市町村、公団が行つている仕事に対する苦情や要望、問い合わせをお聞きして、その解決を促進し行政を住民のみなさんのためのものにすることを目的とした制度です。相談にあたるのは、行政相談員で川辺町は水野和歌子委員が総務庁長官から委嘱されご活躍をいただいています。

相談は無料で秘密は固く守られますのでお気軽にご相談ください。

なお本町では、十月四日(水)午前九時から十二時まで役場相談室で定期相談所を開設しますのでご利用ください。

※なお、相談日以外でも相談に応じます。

ご存じですか!?

行政相談

行政相談週間

10月15日～10月21日

相談先：水野和歌子氏宅
電話番号：53-12357

10月かわべのくらし



あいさつ運動

あたたかいやさしい言葉が
言えるようになります。

☆呼び捨てにしないようにしましょう。



せいそう活動

食事の後かたづけを
みんなでしましょう。

☆自分の食器は自分で洗って
かたづけましょう。

10月15日(日曜日)は

家庭の日

家族みんなでスポーツや

読書に親しみましょう。



私の仕事は花の世話

川辺北小四年 佐伯 千里

私の仕事は花の世話です。四月に学級みんなで「お家の花といっしょに自分の花を育てよう」と決めました。私は、お母さんとどうだんをして、金魚草を選びました。

「大きくなつてね。」
と、心をこめて植えました。

花には育てた人の心があらわれる

ことを聞きました。

私たちが、ごはんやおやつを食べたり、お茶やジュースを飲んだりするよう、花も水がほしいんですね。赤ちゃんを育てるお母さんのようにやさしくて、世話をすると、花は喜び、

きっと美しく一生けんめいに咲いてくれると思います。

今では、私の金魚草は、もうじき花を咲かせるまでとなりました。どんな

きれいな赤い花を咲かせてくれるのかとも楽しみです。

この間の川辺町の花いっぱい運動では、コスモスやほたんも植えました。どんなんある仕事です。この間いただいてきたコスモスや私の金魚草を、これから大切に育てていこうと思います。

町民あげての入づくり

10月1日(日)は
町内小学校の運動会

10月18日(水)は
町内小学校の陸上記録会

10月22日(日)は
町民運動会

10月28日(土)は
郡中学校音楽会

にっこりと 今日も元気に「行ってきます！」

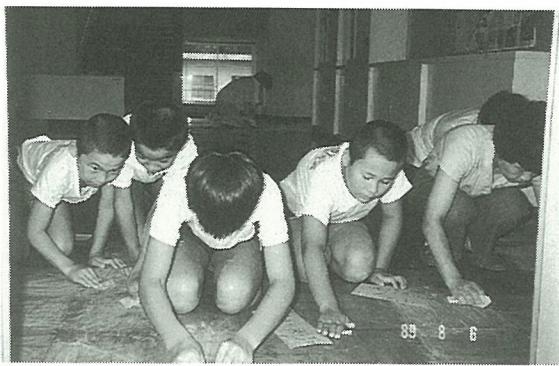
北小6年 丸野 裕亮

ぼくの小さな手にも ちゃんととれます 庭の草

北小2年 佐伯 克也

「ワア、ピカピカになったね。」「かがみみたいだ。」
教室、廊下の床がとても美しい、進んで働く子の育成をめざして、今年も夏休みに親子奉仕作業が行われました。教室、廊下のユートン塗り、ふじ棚、遊具のペンキ塗り、又校庭の草取り等、自分等の学校は自分等の手で美しくと、流れる汗をふきふき、親子が力をあわせて頑張りました。

また、この活動が環境整備という意味だけでなく、親と子、PTA会員同志のふれあいの場としても意義あるものでした。



親子奉仕活動

川辺北小・母親委員会

第一回マリンスボーツカーニバルの各種目、ことの成績をお知らせします。

町では、来年もこの大会を予定しています。今回参加されたチームをはじめ、新たな挑戦者の参加を期待しています。またカヌーの参加者は例年よりも少なくなかったのですが、より多くの参加が得られるよう、今後運営等について検討する予定です。

ボートの部

*
〔敬称略〕

【一般男子】▽優勝＝ファイア
レーズ（酒向義隆、坂井守行、相
馬力夫、美濃輪美和、木下巧）
▽準優勝＝川辺ヤング（高谷健、
平岡典男、加藤隆秀、山口政信
辻民平）▽三位＝スープーバージエ
ッタ＝（石早哲郎、新川雅司、
塚原泰、安川成行、勝野直人）
▽四位＝来年こそは操法優勝す
るぞA（前島和也、佐伯雄幸、
佐伯政宣、井戸義高、小田儀治）
▽五位＝岐阜川辺町農協（加藤
嘉文、桜井尚樹、曾我智、牧田
加津己、馬場嘉紀）▽六位＝パ
ワーアップ200V（中谷邦博）

マリンスポーツカーニバル成績結果

永田健、水野順一郎、藤井義樹
中山英俊) ▽参加クルー＝川辺町議会A、川辺町議会B、可茂マリナスターズその1、可茂マリナスターズその2、ダイキヨーラズ、パトローラーズ、ハッタリFIVE、ラスカル、R-A R-B、エリエール産業A、エリエール産業B、西小ティーチャーズ、キヨシーズ、ボウストンハードロウ、ボランティアJH C、東信ヘルメッツ、来年こそは操法優勝するぞB、川辺中ボート部保護者会OB、バナナボート、北小ティーチャーズ、川辺中ティーチャーズ、JKジエミニクラブB、自動車の操法はえらいぞチーム、電気温水器ヨロシク、スプラッシュ、オールドキング、西柄井A、体育委員ダンディーズ、よせなべ、ファイターズ、パワーズ、顔面ショワーズ、鹿塩ソフト、役場A、役場B、ピンポンチーム

田島子、竹地さわ子、野中鈴子、
朝日志津子、小沢美子) ▽四位
川辺NP(富樫清子、佐伯美
千代、丹羽厚江、山田マリ、高
木奈穂子、上屋ゆう子、井戸久
裕未、今井三枝子、肥田真奈美、
田中郁美) ▽四位
田久美枝)

【中学生男子】 ▽優勝＝Aクル
I(馬場啓介、可児寛和、坪内
賢一、坪内芳憲、牧田英二) ▽
準優勝＝Bクルー(中島和也、
小林伸也、渡辺修、佐伯大輔、
福井伊須呂) ▽三位＝Eクルー
(加藤雄三、町田夏樹、牧田圭
生、富永晴夫、金森大輔) ▽四
位＝Fクルー(遠藤竜太、石井
大輔、松岡俊幸、村瀬孝志、小
沢卓也) ▽五位＝Cクルー(井
戸純一、小原喜則、駒島亮宏、
長谷川祐樹、山田晃) ▽六位＝
Gクルー(伊藤貴広、木下直樹、
道家信彦、渡辺良道、小牧正則)
【中学生女子】 ▽優勝＝Aクル
I(長谷川智子、木下由香、井
戸美恵子、羽賀郁江、佐原真由
美) ▽準優勝＝Bクルー(加藤
環、長谷川久美子、長谷川栄子、
佐伯敦子、田口まゆみ) ▽三位
＝Dクルー(川口美由紀、小島
千代、丹羽厚江、山田マリ、高
木奈穂子、上屋ゆう子、井戸久
裕未、今井三枝子、肥田真奈美、
田中郁美) ▽四位＝Cクルー(高
木奈穂子、上屋ゆう子、井戸久
裕未、今井三枝子、肥田真奈美、
田中郁美) ▽四位

△五位＝Eクルー（栗本磨理子）
長谷川千佐子、山田理絵、木下美香、藤井智美）△六位＝Fク
ルー（山田裕美、高井佐知子、伊藤美由貴、堀江寛己、座間京
子）

【特別賞】△ほのぼの賞＝キヨシーズ（前島慎子、前島智恵子、前島徹子、前島康典、前島真二）
△奮闘賞＝オールドキング（西垣兼茂、紅谷光男、平岡昭、三位＝佐伯順弘
品勇、野村正樹）

（カヌーの部（上位三位まで））

【一般男子】△優勝＝大脇孝一
△準優勝＝ヘンリー・ポスト△
△三位＝佐伯順弘

【一般女子】△優勝＝中沢和美
△準優勝＝紅谷紀子△三位＝竹地さわ子

【中学女子（高校生含む）】△優勝＝古田まち子△準優勝＝安江美佳△三位＝渡辺文代
△三位＝坪内芳憲

【中学男子（高校生含む）】△優勝＝松岡俊幸
△渡辺修△準優勝＝木下裕二△三位＝佐伯良多

【小学女子】△優勝＝山田鮎子
△準優勝＝土屋さとみ△三位＝井上美咲
△準優勝＝木下裕二△三位＝佐伯良多

佐伯昭広さん（中川辺）から「先に亡くなつた父親の佐伯伍一が長い間、大変お世話になりました。何かに役立てていただければ」と町社会福祉協議会に三十万円の寄付と車イス一台の寄贈がありました。ありがとうございました。

社会福祉協議会では、この寄付でベッドを一台購入することを決め、あとの残りは意義あるものをレ、現在貯めております。

第19回 町民運動会

● 10月22日(日)実施

雨天の場合、29日(日)

●川辺中グラウンド

8時30分開会式



伊東ゆかりコンサート

11月4日(土)

- ・場所 川辺町中央公民館
- ・時間 午後6時開演

問い合わせ先 中央公民館まで

▼グループに分かれ交歓会をする西小児童
とケニアの子どもたち



アフリカ、ケニアから子ども使節団が来町し、西小の子どもたちや、第一保育園児らと交流をしました。来町したのは十一歳の少年少女六人で、孤児施設の子どもたち。ほかに施設長、国営放送記者などが参加しました。

西小との交流は、8月5日に川辺海洋センターで行われました。西小のコーラスに対して、ケニアの民族おどりが交歓され、記念品の交換も行われました。

西小・第一保育園と交歓

ケニアから子ども使節団

はなしのひろば



先の花いっぱい運動で植えられたバゲイトウ。
(比久見地内で)

西小の子どもたちが、各自で用意した習字や折り鶴、絵や文具類をケニアの友人に手渡す場面もありました。その後、グループにわかれ話し合いやゲームなどを行い、楽しい交歓会となりました。

第一保育園では、十二日に交流会を行いゲームなどをして楽しみました。

人シリーズ⑤ 健康高齢者



大場則雄さん(93)(中川辺)

今年の六月の健康診査で異状なしと判定された大場さん。今九十三歳になったと話されます。「耳や目は少し悪くなつてきましたが、今は畑や盆栽の毎日」と元気なようす。健康新聞にはどんなことに気をつかつてますかとの質問に「毎日鍛錬することが大切、自分で体操を考え、体を鍛えています。早寝早起に、一番大切なことは人間は気力が大切だ」と言葉に力がこもります。

食事も何でも食べること、肉や魚ももちろんのことでした。今でも手紙をよく書き、風呂も毎日入る。「新聞はちょっとが見にくいからね、家族からの情報で社会に遅れていません」と会話もはつきりしています。

しかし、タバコは吸うとのことで一日に十本程度とか。

今日も元気に畠仕事をしている大場さんでした。



第一保育園でも交流が行われました

八月二十四日早朝から、全建
総連川辺支部(白村正明支部長)
の奉仕作業が行われました。

全建総連は会員十八人、町内
の建設関係者で構成され、ペン
キ関係、大工、電気など業種は
様々。設立されて二十五、六年
の間、町内の学校や保育園など
の要望に応じ、自慢の技で屋根、
天井、壁などの修繕、柵や倉庫、
フェンスなど無料奉仕に汗を流
その活動は活発です。

全建総連川辺支部が奉仕作業

八月二十四日早朝から、全建

この日は、川辺中、東小、北
小、第二保育園の計四か所に会
員が分れ、作業に取りかかって
いました。今まで一番大変だ
ったのはとの質問に「中学校の
ステージの踏み台づくりかな。
あれはえらかった」と。このほ
かに。町産業文化祭に協力した
下川辺婦人会

(東小で)

▶額かけを作るメンバー



◀看板作業に取り組むメンバー



婦人会が盆おどり

下川辺婦人会

八月十四日から二日間、下川
辺区の盆おどり大会が下川辺公
会堂前で開かれました。

この運営の中心となつた団体
は婦人会の下川辺支部。町内の
盆おどりで婦人会中心となつて
いるのはここだけとできます。

先に実施された下川辺ふれあ
い集会でも、地区のふれあいの
場として盆おどり大会があげら
れていました。

この大会には、区をはじめ、
子どもも会育成会、交通安全協会、
福寿会などの各団体が協力、カ
ラオケ大会、変装大会、焼きそ
ば、氷などのバザー、金魚す
くいなど、楽しい行事となつて
いました。

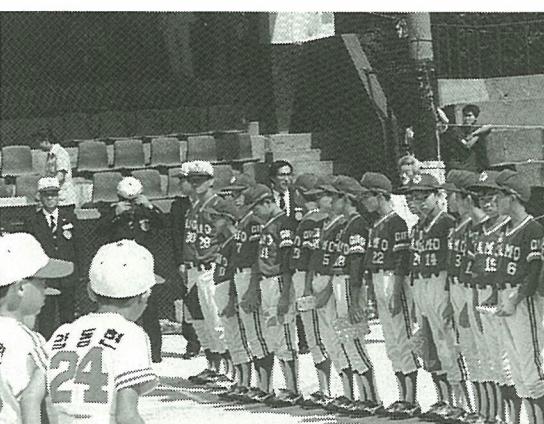
加茂郡下の選抜少年野球チー
ムが県軟式野球連盟加茂郡支部
主催の韓国友好親善試合に出かけ、川辺町からも西小のイーグルスから六人、東小の飛水から三人の計九人のスポーツ少年団員とその家族が参加しました。八月十六日に名古屋空港を出発、二泊三日の行程で、韓国の小学生チームと試合を行いました。

韓国へ友好親善試合
川辺町からも参加

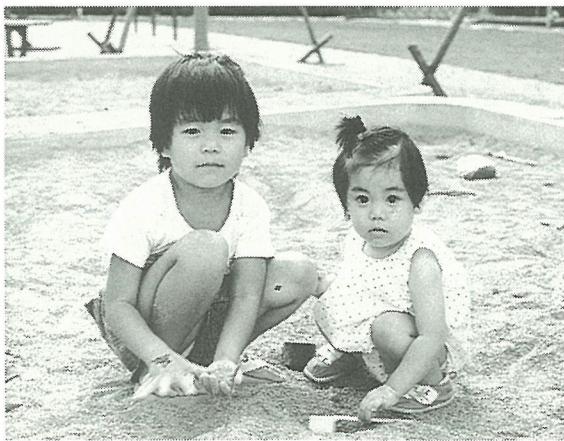
この行事への参加は「まず国際交流を果たし、試合を通して

の野球の勉強と他国を見るこ

で国際感覚をつかむ」ことが目標でした。試合の結果は惜しくも負けてしまいましたが、参加した親たちはこうした体験が子どもたちのこれから的人生に何か役立つことがあると話していました。



元気です



河合 みかちゃん(3歳)
ゆいちゃん(1歳5か月)=石神
(伊佐男さん・美代志さん 長女・二女)

子どもの心④

ケニアの子と握手

ケニアの子が川辺に来てくれました。さつそく友達とプレゼントを持って参加しました。真っ黒ですが、真っ白な歯で、にこにこして話すのがとても、かわいい感じでした。美しい民族衣装で太鼓を打つて歌をうたつてくれました。テレビみて、いるようでした。トウモロコシのパンが大好きなど。英語とスワヒリ語を話すことなど、いろいろ

日本の人権感覚が問題となる事件が後をたたない昨今です。日本人以外につき合いの無い生活が大きな要因とも言えるでしょう。一部の子達でしたが、外國の子と握手できたことは、すばらしいことです。今後に生き抜く国際感覚として育つことでしょう。関係の皆様に感謝申し上げます。(西小・井戸 均)

教えてもらいました。中でも、日本と同じ「かくれんぼ」をして遊ぶことや、「ケニアより日本の方が暑い」と言つたことには驚きました。プレゼント交換の時、とても恥ずかしかったけど思いきって握手しました。同じ年なのに、とても大きな手でした……略。

(西小五年・中島志穂)

県ソフトボール協会主催の第十四回県ジュニアソフトボール選手権大会最終日の八月六日、川辺西小のレッドビッキーズが女子の部で優勝に輝きました。

この大会は羽島郡笠松町の米野グラウンドで行われ、選抜された女子十五チームが参加、トーナメント方式で熱戦が繰り広げられました。

試合は、一回戦、二回戦、準決勝と勝ち進み、決勝は岐阜市の芥見スポーツ少。一回の裏に五点の先取点を取り、まずまずの出足。五、六、七回に九点を取りれたものの十二対九で芥見スポーツ少を下し、優勝しました。

大和女子	0	0	3	0	1	1	5
川辺西	0	0	0	3	1	2X	6

芥見スポーツ少	0	0	0	0	2	3	9	
川辺西	5	0	3	2	1	1	X	12

成績は次のとおり

レッドビッキーズが県大会優勝

第十回県ジュニアソフトボール選手権

少を下し、優勝しました。



▲優勝したレッドビッキーズ

今月の料理



岩井栄養士

ナスと豚肉の みそいため

厚さの斜め切りにし、ちょっとなめて感じるくらいの塩水につける。(こうすると余分な油を吸わない)にんにくは

【材料】(四人分) 豚薄切り肉二〇〇グラム、なす六~八個、にんにく一かけ、サラダ油大さじ三、調味料A(みそ・みりん・酒各大さじ一、豆腐板醤(トウガラシの入った中国のみそ)小さじ二)

みじん切りにする。(2)中華な幅に切つておく。なすはへたをとり、縦半分に切り、五ミリ

【作り方】(1)豚肉は四~五センチ幅に切つておく。なすはへたをとり、縦半分に切り、五ミリみじん切りにする。(2)中華な幅に切つておく。なすはへたをとり、縦半分に切り、五ミリ

で豚肉を炒め、肉の色が変わったら引き上げておく。(3)同じ中華なべにサラダ油大さじ二をたし、水気をふいたなすを加え、色よく炒めて、これも取り出しておく。(4)また同じ中華なべに、にんにくとAの調味料を合わせて熱し、そこへなすと豚肉を戻して勢いよくからめる。

※ポイント:なすを塩水につけ、余分な油を吸わない

■わたしたちの作品

月祈燃祈大 大月勾 蟬しぐれ 祈勾易
のえるる瞳根根里肌 るるふ れるふ 肌々

車替えたら戸が走る
団扇咥えて金魚選る
地祭りの笏不淨掃く
風死して万象喘ぐ
炎暑寛ぐ森騒ぐ
絹団扇静かに動く
尾花は招くチチ口鳴く
小春日にねじゝ乾く
伊吹下しが締め上げる
下げて来る様孫頼む
春の兆しが顔に浮く
雨乞う太鼓鎮守洩る
山合いの五戸浮き上げ

木 桜 木 山 小 中 矢 片 伊 木 木 紅 櫻
下 井 下 田 栗 島 島 桐 藤 沢 沢 谷 井
靜 幸 風 与 桑 亞 春 桐 老 九 鶴 尋
志 雲 月 光 梓 峰 風 花 梅 重 女 紅 香

晩酌の手を休めきく追悼の「悲しい酒」は身に沁みわたる
母と共に枕並ぶる湯の宿に山の香りの月淡くさす
雨あがる日暮れしづかに花ざくろ色あざやかなままに散ら
雨ふふむかづらの一輪朱色の雫おとせり青銅の壺に
送り火を焚きます姑の手慣れしを嫁と並びて愛しまなざし
「迷惑はかけとうない」とふ老人の合づち打ちつつ診察を
慰靈碑に風吹くまじ冲縄の委曲に燃ゆる花の園にも
朝もやの中を病院に急ぐ刻新聞配りの人も走りぬ
三人の子夫夫生きる道をゆきこの頃の吾れ小さくなりぬ
真新し洋龜音たてて抜けたりつゆの最中の鬱彈かんと
山裾の葉裏をかえす雨風に心せわしく畦草を刈る
かえり咲く木蓮の紅愛ほしと濃き緑葉は寄り添いて抱く
「くもり・雨」「病休」とのみ書きとめて余白の多き日記を

遠山加垣山赤長岩松遠栗横紅
藤田藤下田坂瀬井岡藤山山谷
志好博君富宗三千久正米寿
豊ま子子子子子代美枝子子茂

古代の川辺

一方、成人男子には、兵役に従事する義務があり、その場合、

税の主なるものは田地に対する課税で、水田の収穫の三割が納付額となつてパーセントが納付額となつていました。その収益はもっぱら地元経費にあてられましたが、そのほかに、郷土の名産品に対する課税もありました。また、労働を提供する制度もあり、道路や橋の補修のための公共奉仕がその目的でした。日数は一人当たり、年間六十日にも及んでいたのです。

人で用意して、防備の任務についたのでした。

収穫も少なく、生産高も思うにまかせない当時のこと、これらの諸税は、農民にかなりの負担となりました。そのため、当初の基本理念であつた平等の精神は、しだいに貧富の格差を生むこととなり、やがて貧しき者の土地の有力者の保護下に入つて、主従関係を結ぶこととなるのです。そして有力者は、地方

木簡には、^ノ“美濃國加茂郡生部郷”とあり、“養老五年（七二一）”と記載されていました。生部郷とは比久見地区のことです。Na.9で紹介しました壬生（みぶ）部の設定からして、中央政府との交流が盛んに行われたことが推察されます。そして、良

この少年が、どのような気持ちで故郷をあとにして、平城京で厳しい労働に従事したのか。その後、この少年はどうなったのか、知るすべはありません。華やかな都の建設の陰に、このような哀話もあつたのでした。（木下）

情報の高度化は、広い範囲で高い水準の情報を私たちに提供し、私たちもそれを受け入れ、理解する力をもつようになつたのです。

豪族に成長していくのでした。
この時代注目したいのは、川
辺が既に中央政府と交流があつ

質な産米が定期的に送付され
ていたことと思われます。

卷之二